

## ～6月の朝礼～

学校長 佐野 健

3月から5月まで、約3ヶ月の臨時休校となり、生徒諸君は長い自粛生活を強いられました。自粛生活の中で生活のリズムを作るのは大変であったと思います。勉強面での不安、体力の低下、精神的な動揺、皆さんそれぞれの悩みや心配事があったと思います。また、外出制限がある中で、家庭におけるストレスを強く感じた生徒もいたでしょう。5月11日（月）からYouTubeによる「映像授業」・ZoomをつかっのHRを実施しましたが、初めての取り組みで、慣れるのに大変であったと思います。

4月20日（月）の読売新聞に「特別対談 新型コロナと人間社会の行方」という記事がありました。社会学者の大澤真幸さんと政治学者の宇野重規さんの対談で、三つの主題が提示されていました。記事を少し紹介したいと思います。

「最大の主題は、国民国家を横断するグローバルな連帯は可能か、という問いだ。感染症は一国だけで解決できず、国際協力への動きが出ている。他方で、一国的な利己主義も強化されている。人類は国民国家の枠を超えて連帯していけるのか。逆に、一国主義が決定的に強化されるのか。第二の主題は、私たちは非常時の権力をどう容認すべきか、だ。法の枠を超えた権力が、今ほど求められたことはない。だが、非常時の権力は日常の中にとどまろうとする傾向があり、民主主義を破壊しうる。私たちはこうした権力とどう付き合っていけばよいのか。第三に監視社会とプライバシーの問題。私たちは、IT技術を駆使した、個人の行動や身体への徹底した監視が感染症対策に非常に有効であることを学ぶだろう。しかし、それは同時に、私たちの自由やプライバシーにとっての脅威である。私たちは、技術をどう活用すべきなのか。」

大変に難しい主題ではありますが、コロナ禍の今、中学生は中学生として、高校生は高校生として今後、世の中の動きを注意深く見ていくことと、それについての自分の考えを持つことが大切であることに気づいて欲しいと思います。

さて、6月1日（月）から13日（土）まで、時差登校・分散登校・短縮授業となりました。6月15日（月）～6月20日までは、「全員登校・毎日登校・時差登校・50分4コマ授業。」そして、今日、6月22日～6月27日までは、「全員登校・毎日登校・8：30登校・50分4コマ授業・部活動再開。」6月29日からは「平常登校・平常授業・部活動可」の予定です。

通学や授業、クラブ活動など、コロナ禍の中、今まで通りには簡単に戻れないと思います。登下校中でも注意が必要でしょう。授業については教科の先生や担任の先生から、アドバイスを受けながら、学年ごと徐々にペースをつかんでください。しかし、

高校3年生は、大学入学共通テストが2021年から、スタートします。文部科学省は6月19日（金）、大学入学共通テストや国公立大の個別試験を予定通りの日程で実施するなどの実施要項を発表しました。

## 【 2020年度大学入試日程 】

- 20年9月15日 総合型選抜（これまでのAO入試）の出願開始。
- 20年11月1日 学校推薦型選抜（これまでの推薦入試）の出願開始。
- 21年 1月16・17日 共通テスト①（第1日程）
- 21年 1月30・31日 共通テスト②（第2日程）
- 21年 2月13・14日 共通テスト③ 特例追試験

- ※ 総合型選抜（これまでのAO入試）の出願は2週間の繰り下げ。  
1月30・31日共通テスト②（第2日程）は、今までは東京・大阪の2会場であったが、全47都道府県で実施。1週間の繰り下げ。
- ※ 私立大は2月1日から始まり。2月25日以降、国公立前期。  
3月18日から公立大中期。3月12日から国公立後期。
- ※ 出題範囲については、共通テストでは特に配慮はなし。個別試験では高校3年で学習することが多い数学や理科、社会の科目で問題が選べるようにするなど、出題範囲を工夫するよう強く要請する。

コロナ禍の中で、今後も大学入試情報は注視が必要になります。高校3年生は特に学年主任の先生、担任の先生、進路指導の先生方に細かな相談をしてほしいと思います。

中学1年生から高校2年生は、4月・5月の学習内容を理解し習得するためにも、学校生活の根幹である、規則正しい生活のリズム「基本的な生活習慣」を身につけて下さい。

そして、今のところ、期末試験が7月13日（月）から高校、14日（火）から中学で実施される予定です。6月29日（月）から2週間、平常授業になり、期末試験を迎えます。「自ら行動する」「主体的に何かを学ぶ」そして、基礎基本の学習を丹念に積み上げて、自分の学習スタイルを作り、「自分の方法」を発見して、モチベーションを高めていきましょう。令和2年度、最初の定期試験に向けて、全力で取り組んでほしいと思います。